

レナリドミドカプセル2.5mg/5mg「サワイ」を
服用されている

たはつせいこつずいしゅ

多発性骨髄腫(MM)の患者さんへ

治療日誌

〔監修〕

徳島大学病院 輸血・細胞治療部 病院教授／血液内科 診療科長

三木 浩和 先生

sawai



沢井製薬株式会社

使用開始日 年 月 日 (冊目)

はじめに

この治療日誌は、『レナリドミドカプセル2.5mg/5mg「サワイ」』（以下、レナリドミド）を服用される多発性骨髄腫の患者さんが、服用状況、体調の変化や副作用、検査値などについて記録するためのものです。

治療中は、ご自身の体調の変化や副作用に気をつけるとともに、レナリドミドを正しく服用し、適切に管理することがとても大切です。ご自身の体調やお薬の服用状況を毎日チェックして、治療日誌に記録してください。気になる症状があれば、担当医師に連絡するようにしましょう。

レナリドミドは、
ヒトで催奇形性を示すサリドマイドによく似たお薬です。

レナリドミドは、お腹の赤ちゃん(胎児)に障害を起こす可能性があります。生まれてくる赤ちゃんに被害を及ぼすことがないように、適正管理手順「レブメイト®」が定められています。

詳しくは、レブメイト®ホームページを参照してください。
<https://www.revmate-japan.jp/patient/>



目次

患者さんご自身の情報	2
レナリドミドカプセル2.5mg/5mg「サワイ」について	3
治療を始める前に	4
レナリドミドの服用スケジュール	5
レナリドミドの服用方法	6
治療中の注意	7
主な副作用について	8
多発性骨髄腫の治療の記録	10
コラム：医療費が高額になったとき	11
「治療日誌」をつけましょう	12
検査値の記録	38

患者さんご自身の情報

記入日： 年 月 日

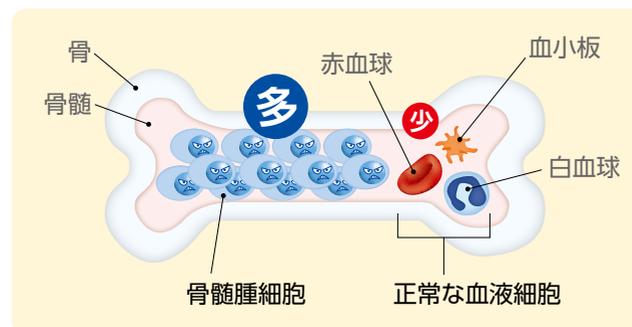
氏名			性別	男性・女性
生年月日	大正・昭和 平成・西暦	年	月	日 (歳)
身長	cm	体重	kg	
血液型	Rh+・Rh- / A・B・O・AB 型			
これまでに かかった病気				
多発性骨髄腫以外の 治療中の病気	病名：	使用している薬剤：		
アレルギーの有無	なし・あり ()			
ご自身の連絡先	Tel：			
緊急連絡先	Tel：	続柄 ()		
担当医師の連絡先	医療機関名：	担当医師名：		
	Tel：			

レナリドミドカプセル2.5mg/5mg「サワイ」について

レナリドミドは、多発性骨髄腫の治療に使われる免疫調節薬^{イミッズ}(IMiDs)のひとつです。レナリドミドは、骨髄腫細胞*の増殖をおさえる、骨髄腫細胞を攻撃する免疫の働きを活性化し、骨髄腫細胞に栄養を送る新しい血管がつかられないようにするなど、様々な作用により骨髄腫細胞を減少させ、多発性骨髄腫の進行をおさえます。

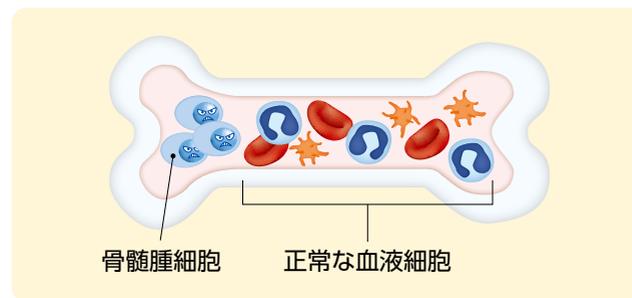
*多発性骨髄腫の患者さんに認められる、がん化した血液細胞の一種。

多発性骨髄腫の骨髄 (イメージ図)



骨髄腫細胞は骨髄の中で無制限に増殖するため、正常な血液細胞の数が減少します。

レナリドミドを服用



骨髄腫細胞が減少します。

治療を始める前に

レナリドミドによる治療が受けられない方

以下の患者さんはレナリドミドによる治療を受けることができません。

- 妊娠中または妊娠の可能性がある。
- レナリドミドの適正管理手順を守ることができない。
- レナリドミドに含まれる成分でアレルギー症状があらわれたことがある。

レナリドミドによる治療を受ける際に注意が必要な方

以下の点に心当たりのある場合は、あらかじめ担当医師に伝えてください。

- しんぶじょうみやくけっせんししょう 深部静脈血栓症を起こしやすい(血栓ができやすいなど)。
- 血液をつくる機能が低下している。
- 臓器移植(造血幹細胞移植を含む)を受けたことがある。
- サリドマイドじゅうとくの服用で重篤なアレルギー症状があらわれたことがある。
- B型肝炎にかかっている、またはかかっていた。
- 腎機能に異常がある。
- 授乳中である。
- 高齢である。

その他の注意

レナリドミドの投与を受けた多発性骨髄腫あくせいしゅようの患者さんで、ほかの悪性腫瘍が発生したという報告があります。気になることや不安なことがあれば、担当医師に相談してください。

レナリドミドの服用スケジュール

- レナリドミドを1日目から21日目までの毎日、1日1回服用します。
- 22日目から28日目までは休薬期間(レナリドミドを服用しない期間)を設けます。
- 28日間(4週間)を1サイクルとし、繰り返します。



- 通常、デキサメタゾン(ステロイド薬)を併用して服用します。
- お薬の服用方法は、担当医師の指示に従ってください。



レナリドミドの服用方法

- 決められた数のカプセルを、1日1回、時間を決めて、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用します。担当医師の指示通りに正しく服用しましょう。
 - ▶ お薬の量は、カプセルの種類や数、服用間隔などで調整されることがあります。
 - ▶ お薬の服用をお休みすることもあります。
 - ▶ 服用方法は、治療の途中で変更になることがありますので、担当医師の指示に従ってください。
- 服用する直前に、1回分のカプセルを包装シートから押し出し、服用してください。
- カプセルをかみ砕いたり、開けたりせず、そのまま服用してください。

レナリドミドカプセル「サワイ」の種類

2.5mg



(実物大)

5mg



(実物大)



治療中の注意

- ▶ **自動車の運転や危険を伴う作業は行わないようにしてください。**
- ▶ レナリドミド以外のお薬(市販のお薬を含む)を服用する際には、医師、薬剤師に相談してください。
- ▶ レナリドミドの保管には十分注意し、紛失しないようにしてください。万が一、レナリドミドを紛失した場合は、必ず担当医師、薬剤師に届け出てください。
- ▶ レナリドミドは、服用する直前まで包装シートから取り出さずに、直射日光と湿気を避けて室温(1~30℃)で保管してください。
- ▶ 小さなお子さんやほかの人が誤って飲まないように管理してください。ほかの人が飲んでしまった場合は、担当医師、薬剤師に連絡してください。
- ▶ 飲み残したカプセルの種類と数を、次回の診察時に担当医師に必ず伝えてください。
- ▶ 管理のために専用のレブメイト®キットをご用意しています。詳しくは、レブメイト®ホームページを参照してください。
<https://www.revmate-japan.jp/patient/compliance/materials.html>



主な副作用について

レナリドミドの服用により副作用があらわれることがあります。早期に発見して、早めに対応することが重要です。以下のような症状があらわれたら、担当医師や看護師、薬剤師に連絡してください。



発熱、さむけ、咳、のどの痛み

感染症(白血球数、好中球数の減少)



歯ぐきの出血、鼻血、内出血(あざができる)

出血(血小板数の減少)



めまい・立ちくらみ、疲れやすい、だるい、どうき動悸・息切れ

貧血(赤血球数の減少)



お腹が張る、お腹がごろごろする

便秘、下痢、腹痛



皮膚のかゆみ、じんましん

過敏症、ほっしん発疹



疲れやすい、体がだるい

疲労・倦怠感



目がかすむ、光がまぶしい、視力が落ちる

白内障

左のページの副作用のほかにも、重大な副作用があらわれる可能性があります。重症化する前に対応することが重要です。以下のような症状があらわれたら、すぐに担当医師や看護師、薬剤師に連絡してください。



足の痛み、足のむくみ*、皮膚が紫色になる

しんぷじょうみゃくけつせんしやう深部静脈血栓症

*片足だけにみられることが多い



突然の息切れ、胸の痛み

はいそくせんしやう肺塞栓症



発熱を伴う発疹、唇・口の中・目がただれる、水ぶくれができる

重篤な皮膚障害

尿の量が減る、体のむくみ	<small>しゆほうかうかいしやうこうぐん</small> 腫瘍崩壊症候群、 重篤な腎障害	めまい、立ちくらみ	起立性低血圧
呼吸が苦しい、かわいた咳が出る	<small>かんしつせいはいしつかん</small> 間質性肺疾患	手足の筋肉が硬直しふるえる、意識の低下	<small>けいれん</small> 痙攣
胸の痛み、呼吸が苦しい、動悸	<small>しんきんこうそく</small> 心筋梗塞、 心不全、不整脈	片側のまひ、頭痛、言葉が出にくい、意識の低下・消失	脳梗塞、 一過性脳虚血発作
手足のしびれ・痛み、感覚がまひする	末梢神経障害	体がだるい、吐き気がする、白目や皮膚が黄色くなる	肝機能障害、黄疸、B型 肝炎ウイルスの再活性化
疲れやすい、まぶたが腫れぼったい、寒がりになる	甲状腺機能低下症	意識の低下・消失、しゃべりにくい、物忘れをする、手足のまひ	<small>たそうせいほくしつのおうしやう</small> 進行性多巣性白質脳症
吐き気、嘔吐、激しい腹痛	<small>せんこう</small> 消化管穿孔	唇やまぶたが急に腫れる、呼吸が苦しい、じんましんが出る	アナフィラキシー、 血管浮腫

多発性骨髄腫の治療の記録

● 造血幹細胞移植

実施日	年	月	日
実施日	年	月	日

● 薬物治療

治療法	実施期間						
	年	月	日	～	年	月	日
	年	月	日	～	年	月	日
	年	月	日	～	年	月	日
	年	月	日	～	年	月	日
	年	月	日	～	年	月	日
	年	月	日	～	年	月	日
	年	月	日	～	年	月	日
	年	月	日	～	年	月	日
	年	月	日	～	年	月	日
	年	月	日	～	年	月	日
	年	月	日	～	年	月	日

コラム 医療費が高額になったとき

医療機関や薬局の窓口で支払った医療費が、同一月(月の初めから終わりまで)の中で決められた上限を超えた場合、「高額療養費制度」による医療費助成が受けられます。この制度では、支払う医療費の上限が年齢や所得に応じて決められており、上限を超えた分の医療費が支給されます。所定の手続きが必要になりますので、病院の相談窓口もしくは健康保険証に記載されている保険者にお問い合わせください。

参考 厚生労働省ホームページ
「高額療養費制度を利用される皆さまへ」



「治療日誌」をつけましょう

レナリドミドの服用状況や、治療開始後にいつ頃、どのような症状があらわれたかを治療日誌に記録しましょう。治療日誌に記録することで、体調の変化や副作用に早く気づくことができ、担当医師への報告もスムーズに行えます。

検査を実施したときには、その結果も記録しておきましょう(▶38~39ページ)。

レナリドミドの服用について(服用間隔、カプセルの種類と数、服用時間の目安)を記入しましょう。

【記入例】

レナリドミドを服用した日は、カプセル数を記入しましょう。

ほかに投与を受けているお薬があれば記入しましょう。

ほかに気になる症状があれば記入しましょう。

どのような症状があらわれたのか、また、気になること、困ったことや、担当医師や看護師、薬剤師に伝えたいことなどをメモしておきましょう。

●レナリドミド「サワイ」の服用

毎日	1日1回	2.5mg	カプセル	服用時間の目安	朝	昼
日おき		5mg	5カプセル		夜	寝る前

1 サイクル 1~2 週目(7/1~7/14)

1 サイクル: 28日間(レナリドミド: 1~21日目まで服用し、22~28日目は休業期間)

日	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14
レナリドミド(カプセル)	5	5	5	5	5	5								
デキサメタゾン(錠)	10													
体温(℃)	36.6	36.4	36.6	36.5	36.2	36.4								
体重(kg)	60.2	59.6	59.5	59.3	59.3	59.5								
めまい・息切れ														
疲労・倦怠感	○	○												
咳・のどの痛み														
歯ぐきの出血														
呼吸が苦しい														
発疹・かゆみ														
足の痛み・むくみ														
便秘														
下痢		○	○	○										
吐き気														
食欲がない														
メモ 気になること ・困ったこと ・担当医師に 伝えたいこと	7/2~ 食欲が出ず 食事はいつもの6割程度													

あらわれた症状に○を
入れましょう。

体温、体重を記入しましょう。
体温：感染症にかかると発熱します。定期的に体温を測定しましょう。
体重：むくみなどにより、急激に体重が増加することがあります。定期的に体重を測定することで、変化に気づきやすくなります。

飲まなかったレナリドミドがある場合は、次回の診察時に担当医師に必ず伝えてください。

▶記入ページがたりなくなったら、担当医師から新しい治療日誌を受け取ってください。

検査値の記録

月/日	/	/	/	/	/	/
たんぱく M蛋白 (mg/dL)						
アルブミン : Alb (g/dL)						
β_2 ミクログロブリン (mg/L)						
クレアチニン : Cr (mg/dL)						
カルシウム : Ca (mg/dL)						
ヘモグロビン : Hb (g/dL)						
白血球数 : WBC (/ μ L)						
血小板数 : PLT ($\times 10^4$ / μ L)						
骨の異常						
メモ						

月/日	/	/	/	/	/	/
たんぱく M蛋白 (mg/dL)						
アルブミン : Alb (g/dL)						
β_2 ミクログロブリン (mg/L)						
クレアチニン : Cr (mg/dL)						
カルシウム : Ca (mg/dL)						
ヘモグロビン : Hb (g/dL)						
白血球数 : WBC (/ μ L)						
血小板数 : PLT ($\times 10^4$ / μ L)						
骨の異常						
メモ						

